

K大先生

Kは二歳になりたての頃からいこいの家の親子教室に通い始めました。きっかけは一歳半健診。「ママ」「わんわん」など意味のある単語を発したことがなく、指さしもしたことがなかったので言葉の遅れを指摘され、親子教室をすすめられました。よく笑うしよくしゃべる（俗に言う宇宙語。笑）ので私はあまり気にしていませんでしたが、同い年の言葉の発達が少し気になる子。たちがイスにしっかりと座って先生のお話を聞いている中、Kだけは常に教室を走り回り、イスに座っても一、二秒…といった様子でした。

年少から公立こども園に通う予定でいこいの先生に話したら、加配をつけてもらった方がいいかもしれないとアドバイスをもらい、特別面接というのを受けました。結果は、一人の子に先生が付きつきりで居られるわけではないから、Kの現状では加配がついても危なく、入園は難しいということでした。その時少しだけ切なくなつたのを覚えています。

その後いこいの家に入園が決まりました。「Kが楽しく通えて、いい先生たちばかりの園に決まりますように」それだけが願いだつたので、今年少・年中・年長と過ごしてきて、本当にいこいの家でよかつたなあと思つています。先生方には本当に感謝しています。また進学先を考える時期が来ましたが、私の願いは変わっていません。KがKらしく楽しく通える学校に決まりますように…

Kはうまれてから私にたくさんのことを教えてくれています。一番は、自分の命より大切な存在があるということ。それから、世の中の常識や

こうするべきという固定観念なんかフル無視で『自分』を生きていいんだということ。あとはやっぱり『今』を生きるということ。どんなに怒られても、何事もなかつたかのようにニコニコして寄ってくるKと、「もう何回も言わせるな」としばらくイライラしたり、「怒りすぎたかな…」としばらくテンションが下がる私。どちらが大人でどちらが子どもなんだろう。Kはいつだって今を生きていて、自分の心に正直で、まっすぐです。私たち大人に「こうやって生きるんだよ」とお手本を見せてくれるように感じています。これからもK先生を見習って、人生をどんどんおもしろくしていこうと思います。大好きなKちゃん、いつもありがとう♪そのままのあなたですくすく育ってください。

Kさん（六歳）のお母さん